

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	個別に家族とコミュニケーションをとる事には力を入れているが、家族全体の意見を集約し運営に反映する機会が少ない。現状では面会の回数が少ない家族は、事業所に言いたいことがあっても、なかなか意見が言えない。	玄関の職員の目の触れないところに意見箱を設置しているが、それ以外にも、家族が意見を出しやすい取り組みを行う。	年に1度家族に満足度調査を行ったり、家族会終了後に入居者とゆっくり過ごす時間を作り、職員が各テーブルを回って会話の中から意見を引き出す等工夫する。	12ヶ月
2	18	オープン当初は家族と触れあう行事が多くあったが、現在は諸君が以前より遠慮している。もっと本人と家族と一緒に過ごす時間を増やせば、入居者の満足度の向上にもつながる。	外出やホーム内の行事のような時に、家族に参加を呼び掛ける。	事前に予定が分かっている外出等の行事には、個別への連絡や、るしだ通信を使って家族に参加・協力を促す。また、消防訓練も、以前運営推進会議の出席者に参加を依頼したことがあるので、家族にも参加を呼びかける。	12ヶ月
3	3	運営推進会議は、平成18年から年6回開催している。2か月に一度の頻度で行うため、最近では会議の内容がマンネリ化になっている。	現在は、勉強会や活動報告が中心となっているので、もっと出席者から活発な意見が出るような内容を企画する。	食事メニューの考案等これまでなかった企画を提案する。来年度、法改正により義務付けされた身体拘束等の適正化のための対策を検討する委員会に関しても、運営推進会議の中で行う。	24ヶ月
4	14	現在、面会者に面会簿か面会者カードへの記入をお願いしているが、面会簿記入の場合、家族の個人情報や他者の目に触れる。家族からの要望で面会簿を残しているが、個人情報保護法の観点から問題がある。	面会者の個人情報の保護を徹底する。	家族から他の身内がきちんと面会に来ているかを確認したいという要望があるので、今後は入居者個別に面会記録を管理し、関係のない人が各家族の個人情報を見る機会をなくす。	6ヶ月
5	13	職員の防火訓練は毎年充実しているが、地震等の災害訓練は不十分である。熊本地震により災害が身近な問題となった今、様々な対策を講じる必要がある。	これまでの防火訓練に加え、地震等の災害訓練を軌道に乗せる。	来年度、熊本県が行っているシェイクアウト訓練に参加する。母体施設の防災委員会と連携し、津波の避難訓練を母体と総合訓練として行う。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。